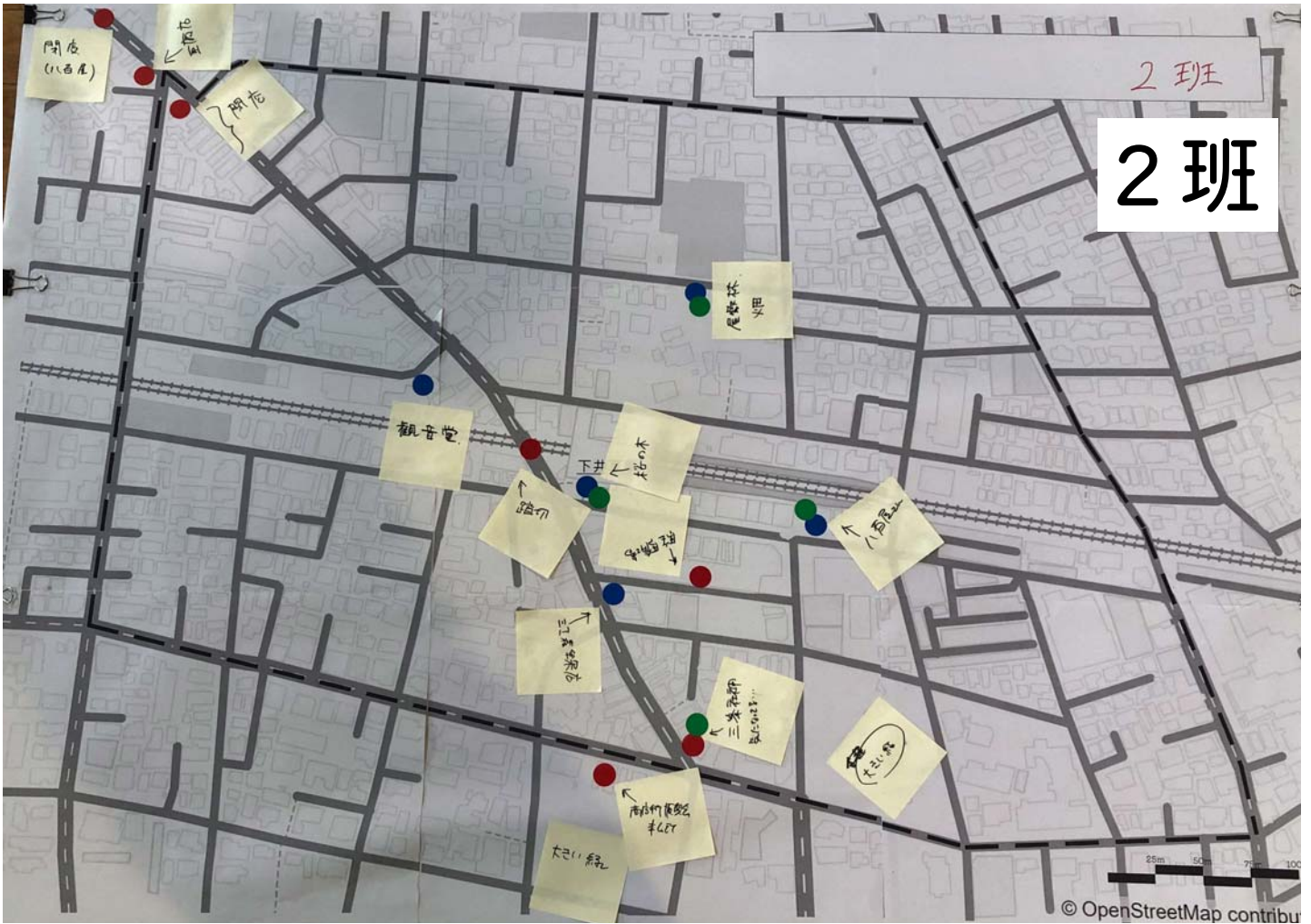
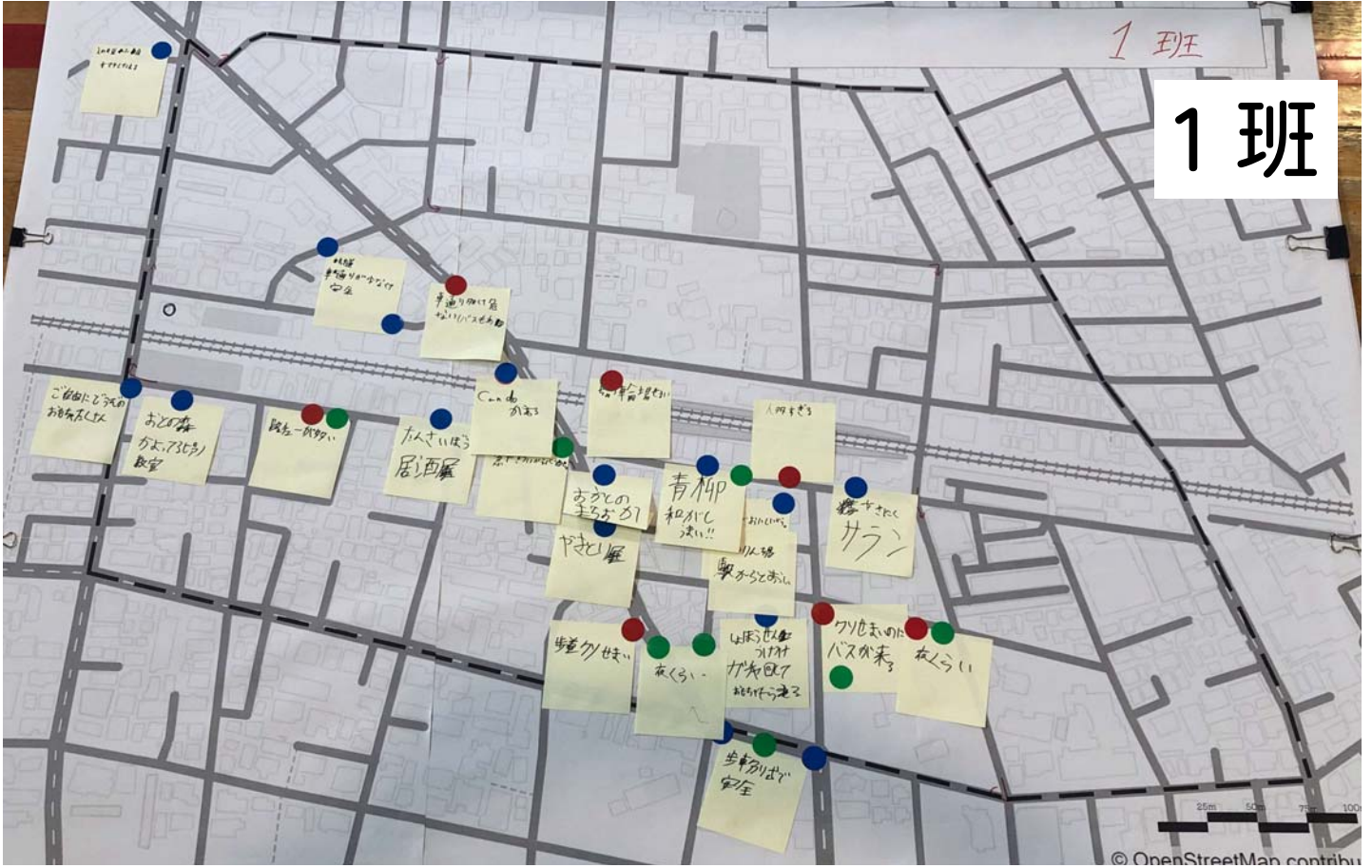


第1回(仮称)下井草まちづくりラボ グループワーク

下井草の「おすすめスポット」

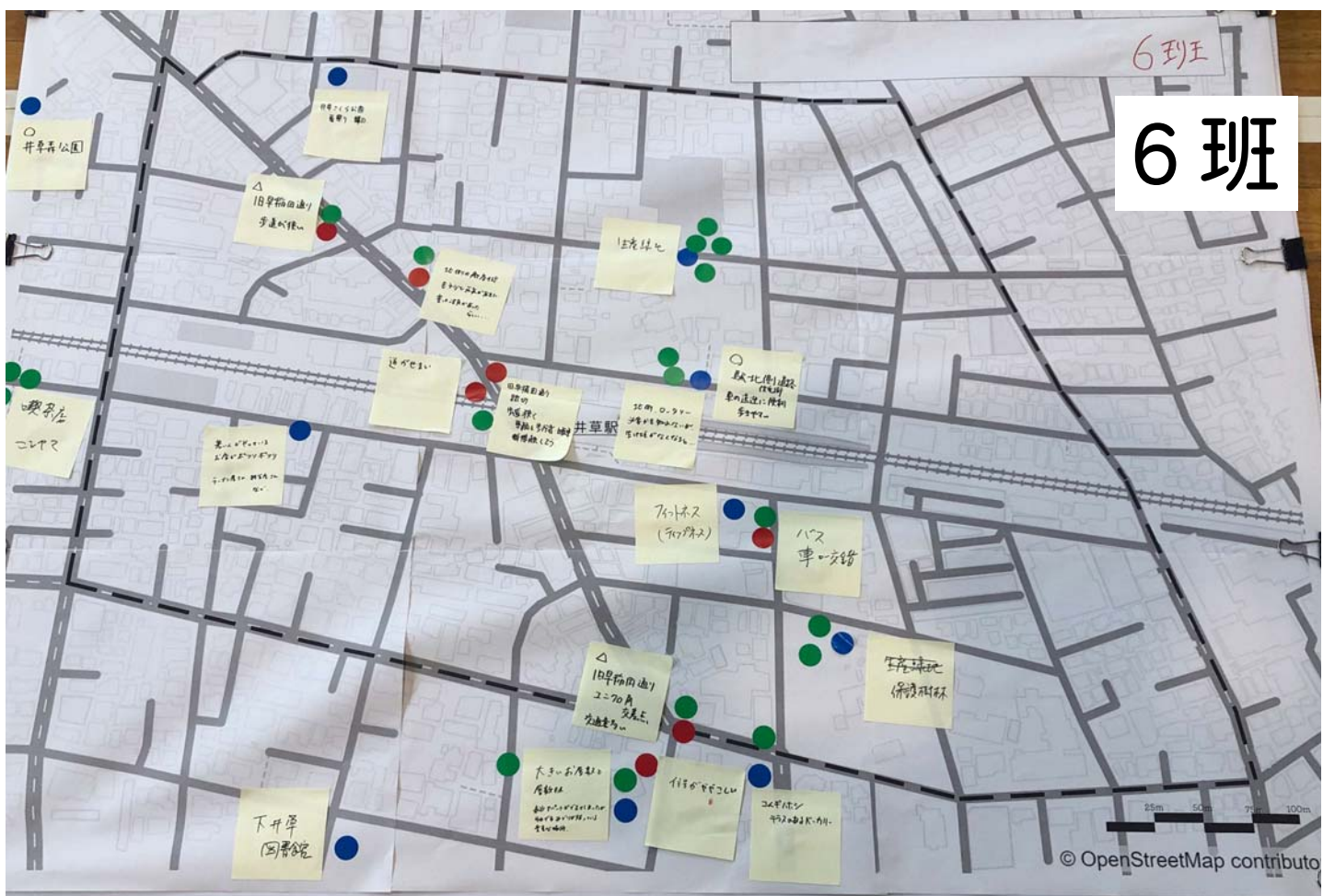


第1回(仮称)下井草まちづくりラボ グループワーク

下井草の「おすすめスポット」

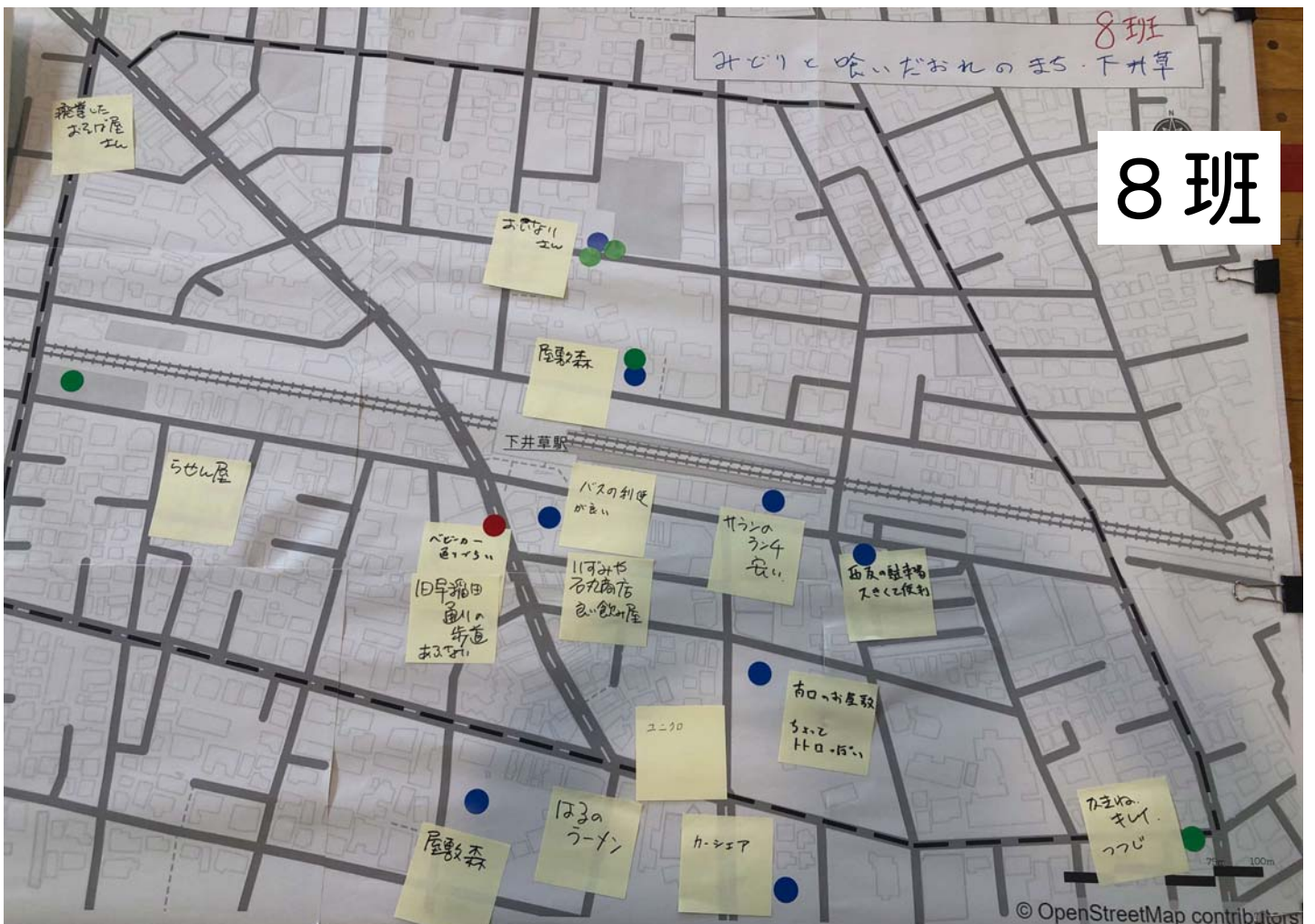


第1回(仮称)下井草まちづくりラボ グループワーク 下井草の「おすすめスポット」



第1回(仮称)下井草まちづくりラボ グループワーク

下井草の「おすすめスポット」





これまでの取組み



平成23年

地域住民による「下井草駅周辺地区まちづくり協議会」の設立

平成26年

まちづくり協議会による「下井草駅周辺地区まちづくり構想」の提案

平成28年

区による「西武新宿線沿線各駅周辺地区まちづくり方針」の策定

令和4年3月・8月
令和5年6月・8月・10月
令和6年3月

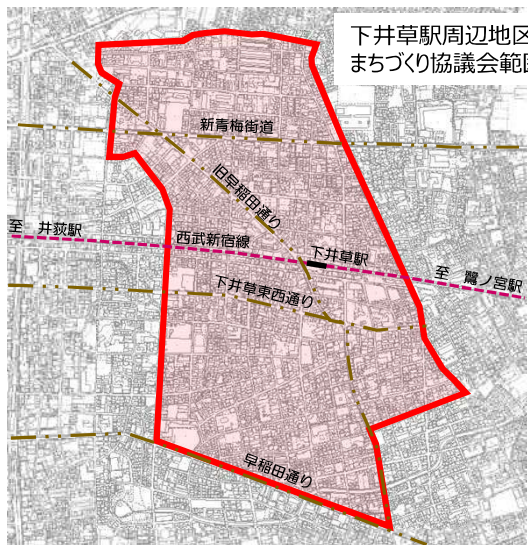
下井草駅周辺まちづくりに関するオープンハウス

令和4年12月
令和5年5月・6月
7月・9月
令和6年1月

下井草駅周辺まちづくりワークショップ

令和6年
7月

(仮称) 下井草まちづくりラボ



沿線地域の まちづくり目標

人と人をつなぐ、みどり豊かな
便利で快適なまち

上位計画による位置づけ

東京都市計画
都市計画区域の整備、開発及び保全の方針
(都市計画区域マスタープラン)

杉並区基本構想
○杉並区総合計画 ○杉並区実行計画

交通拠点である駅を中心に、地域の特性を生かした
商業の活性化や生活利便性の向上を図り、にぎわい
と多彩な魅力あるまちづくりを進める。

杉並区まちづくり基本方針
(杉並区都市計画マスタープラン)

地域別方針

井草地域

西荻地域

荻窪地域

阿佐谷地域

高円寺地域

高井戸地域

方南・和泉地域

西武新宿線沿線各駅周辺地区
まちづくり方針



まちづくり方針（概要）



地域住民や関係機関と連携・協働を行い、まちづくりの目標である「人と人をつなぐ、みどり豊かな便利で快適なまち」の実現を目指します。

分野別方針の基本的な考え方

交通体系分野 （道路・交通）

- 交通結節点機能の強化
- 交通ネットワークの形成

土地・建物利用分野 （商業・にぎわい）

- 駅周辺のにぎわい拠点形成
- 適正な土地利用の誘導

住環境分野 （住環境・みどり）

- みどりの保全・育成
- 防災・防犯まちづくり

下井草駅周辺地区のまちの将来像

にぎわいと良好な住環境が調和した、安心して住み続けられるまち

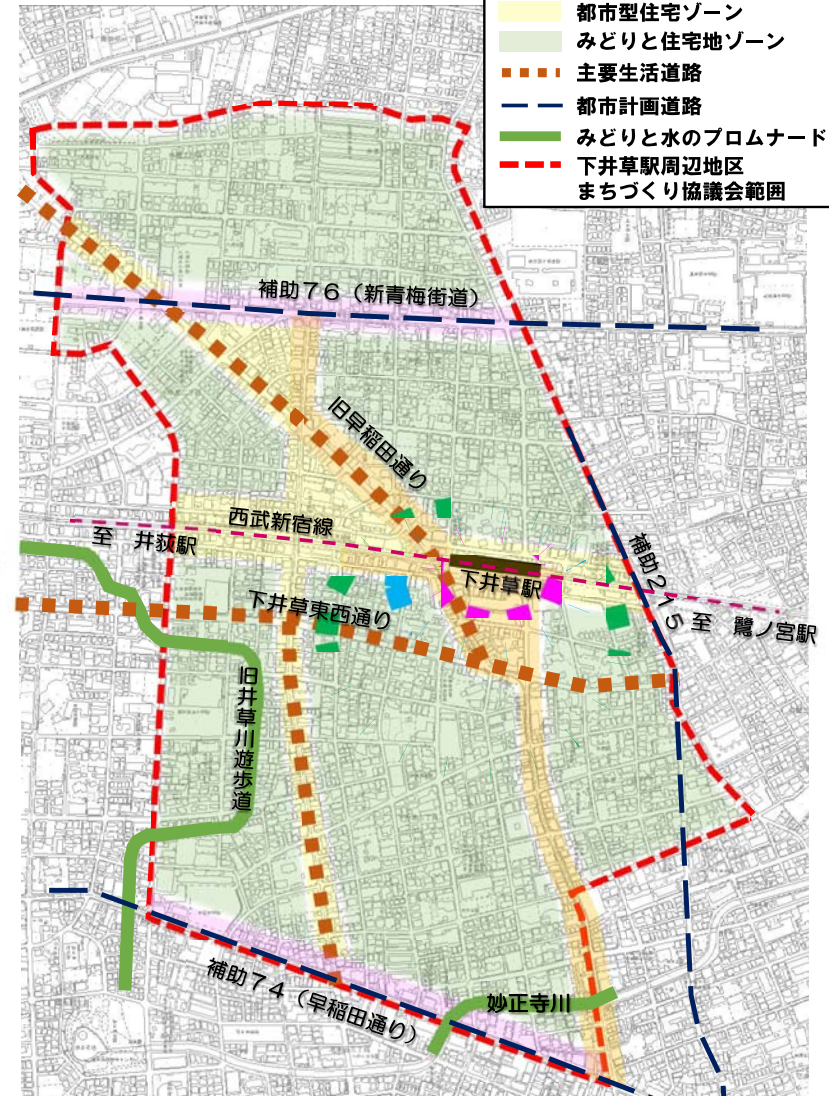
◆ 駅周辺に魅力的なにぎわいのあるまちづくり

- ▶ まちの顔となる駅周辺の環境整備、商店街の景観整備を通じて、にぎわいのある拠点形成を図る。
- ▶ イベントやマルシェなどの開催等商店街の魅力を高め、地域主導の商店街活性化の取組みを進める
- ▶ 駅周辺の商店街では、買い物客の一時的な自転車置き場や休憩スペースとして利用できるよう、建築物の配置を工夫する。

◆ このまちらしさを活かした、安心で魅力的なまちづくり

- ▶ 駅前にあるサクラ（シンボルツリー）の保全や遊歩道・公園、屋敷林・農地などのみどり豊かな環境を維持し、魅力的な景観形成を図る。
- ▶ 防災・防犯活動や地域の行事などを通して、人と人がつながる地域コミュニティづくりを進める。

< 凡例 >	
	駅周辺交通環境の向上
	駅前にぎわいゾーン
	みどりの保全地区
	補助幹線道路沿道ゾーン
	商業ゾーン
	都市型住宅ゾーン
	みどりと住宅地ゾーン
	主要生活道路
	都市計画道路
	みどりと水のプロムナード軸
	下井草駅周辺地区 まちづくり協議会範囲



■ 令和5年度下井草駅周辺地区まちづくりワークショップ及びオープンハウスの開催概要

道路・交通面の課題解決を中心に地域の方々と意見交換を行う場です。公募等で参加いただいた地域の方々との意見交換を通して、まちづくり方針で掲げた「道路・交通分野」の方針に基づき、「道路・交通施設整備計画」の策定を目指しました。

令和4年12月

※オープンハウスとは、ワークショップで行った内容について多くの方から意見を聴くために開催しているもので、パネルを展示し区職員が来場者に直接説明し意見を聴いています。

第1回まちづくりワークショップ

- テーマ：**下井草駅周辺まちづくりの経過と現状**
- 実施内容：参加者に自分達が住むまちの特徴を知っていただくため、まちの魅力や課題等についてグループごとに意見交換を行いました。

令和5年5月

第2回まちづくりワークショップ

- テーマ：**まち及び下井草駅周辺の将来イメージ**
- 実施内容：第1回まちづくりワークショップを踏まえ、道路・交通分野を中心とした駅周辺のイメージや求める機能について意見交換を行いました。

令和5年6月

第3回まちづくりワークショップ

- テーマ：**駅周辺の将来イメージを考える**
- 実施内容：駅周辺のイメージ案として、第2回まちづくりワークショップでいただいた意見を整理した駅周辺機能図4案について、グループごとに意見交換を行いました。

第3回まちづくりオープンハウス 令和5年6月

第1～3回ワークショップの内容について紹介するとともに、駅周辺機能図についてはワークショップで出た意見第5案も合わせて示し、来場者の方からご意見を伺いました。

令和5年7月

第4回まちづくりワークショップ

- テーマ：**将来の交通のありかた（案）の検討**
- 実施内容：区が考慮する事項や基本的な考え方を共有したのち、今までいただいた意見を整理し、選定した駅周辺機能図3案について意見交換を行いました。

第4回まちづくりオープンハウス 令和5年8月

第4回ワークショップの内容について紹介し、来場者の方からご意見を伺いました。

令和5年9月

第5回まちづくりワークショップ

- テーマ：**道路・交通施設整備計画（たたき台）の確認**
- 実施内容：ワークショップやオープンハウスでいただいた意見を踏まえて区で作成した道路・交通施設整備計画（たたき台）について、グループごとにご意見を伺いました。

第5回まちづくりオープンハウス 令和5年10月

第5回ワークショップの内容について紹介し、来場者の方からご意見を伺いました。

令和6年1月

第6回まちづくりワークショップ

- テーマ：**道路・交通施設整備計画（たたき台No.2）の確認**
- 実施内容：第5回まちづくりワークショップでいただいた意見をもとに、道路・交通施設整備計画図（たたき台）を修正した道路・交通施設整備計画図（たたき台No.2）について、参加者と意見交換を行いました。

第6回まちづくりオープンハウス 令和6年3月

第6回ワークショップの内容について紹介し、来場者の方からご意見を伺いました。

二次元コード



各回の資料はこちらから
ご覧いただけます。

これまでのオープンハウス・ワークショップの振り返り（いただいた主な意見）

第1回まちづくりワークショップ・第3回まちづくりオープンハウス

自分たちが住むまちの魅力や課題について、ご意見を伺いました。

◆まちの魅力

- 多方面へバスルートが通じているため、毎日の買い物に便利である。
- こじんまりした地元感がある。
- 個人のお宅のお庭のみどりが豊かで、散歩して楽しい。
- みどりが多く、静かで子育てにとても良い。
- 井草川には遊歩道があり、桜がきれい。
- 低層の住宅街のゆったりした街並みが良い。
- 住宅地として住みやすいので、開発等や大きな建物ができなくても良い。
- 新しく住み始めた人も増えているように感じる。
- 人情味あふれる人が多い。
- 「舌べろ餅」や「どんど焼」など都市部では少なくなったイベントやお祭りがある。

◆まちの課題

- 旧早稲田通りの歩道が狭く歩きづらい上に危険で、バス停の部分も狭く降りづらい。
- 旧早稲田通りは、バス停でバスが止まると渋滞になる。
- 早稲田通りは、幅員が狭いうえに電柱が歩道上にあるため、車椅子も通れない。
- 駅前の交通環境が悪い。バスや買い物客などで混雑する。
- タクシープールが駅にないため、タクシーを拾うことができない。
- 連続立体交差事業で開かずの踏切や南北分断を解消して欲しい。
- 若者向けのカフェやレストラン、ファッションの店が欲しい。
- 買い物に行きたいが、休める場所がまちなかにないため、高齢者は外出機会が減ってしまっている。
- 駅周辺に広場ができると盆踊りとか祭りなどが復活できるのでは。
- 散歩道をもっと増やして欲しい。
- 人が集まれる、ちょっと休める場所が欲しい。

第2回まちづくりワークショップ・第3回まちづくりオープンハウス

道路・交通分野を中心とした駅周辺のイメージや求める機能についてご意見を伺いました。

【道路・交通】

- 旧早稲田通りの安全性の確保（一方通行・歩道拡幅整備・電柱の地中化）
- 交通拠点であるが駅前の混雑が非常に多い
- タクシープールの確保（タクシー乗り場がなく不便）
- 安心安全な道路空間の確保（歩行者優先として交通規制を設ける等）

【商業・にぎわい】

- にぎわいの拡充（若者が集まる場所や地域イベント、太鼓祭りなど）
- 狹窄ほどのにぎわいは望まないが、住んでいる人の利便が図れるにぎわいの創出は必要

【住環境・みどり】

- 地域交流スペースの確保（まちなかでつるぎるベンチや空間、多世代交流拠点等）
- 防災機能の強化（核シェルターや備蓄倉庫等）

【交通機能】

- 北側：車両機能の集約（バス停留所、タクシープールや朝夕の送迎車乗降等）
- 南側：交流スペース（歩行者系広場・バリアフリー化）

第3回まちづくりワークショップ・まちづくりオープンハウス

第3回まちづくりワークショップでは、これまでいただいた意見を整理した駅周辺機能図案①～案④を提示し、参加者と意見交換を行いました。その後、第3回まちづくりワークショップでいただいたご意見をもとに新たに案⑤を追加し、5つの案について第3回まちづくりオープンハウスでご意見を伺いました。



- 歩行者空間が確保できる。
- 駅の顔となる広場の整備ができそう。
- 駅北側の活性化につながる。
- 歩行者と車両を分けた案はなかなかよい。
- 人との交差が生じる（通学路があるため）
- 視点的分断が生じる可能性がある。
- 交通系広場ができれば、内部に車両が入ることがないので良い。
- 駅北側の活性化につながる。
- 地域の協力のもとまとまった敷地が必要。
- 視認性の部分で分断が生じる可能性がある。
- 北側の静かな住環境が乱される。
- 駅前にバスが通ることにより環境が悪化する恐れがある。
- 歩いて楽しむという視点的欠如。
- 駅から広場までの距離が遠い。
- 北側の衰退が加速する。
- 人と広場が一体的で視認性もあり現実的。
- 駅の顔となる広場の整備ができそう。
- 人と広場の動線が近接することによる危険性が増える。
- 北側のにぎわいが置き去りにされる。
- 誘致した商店街がこの街になじむか疑問。
- 旧早稲田通りを何とかしなければという観点から、迂回路、交通規制、無電中化等を積極的に進めてもらいたい。

第4回まちづくりワークショップ・まちづくりオープンハウス

これまでいただいた意見等をもとに区から将来交通のあり方を示し、ご意見を伺いました。なお、駅機能図については、いただいたご意見と「区が考慮すべき事項」をもとに5案から3案に絞ってご意見を伺いました。

オープンハウス及びワークショップでいただいた意見

考慮すべき事項

- ◇道路管理者との協議・承諾
- ◇道路法や道路構造令の遵守
- ◇予算
- ◇交通管理者との協議・承諾
- ◇都市計画法に基づく位置づけ

◇将来交通のあり方（案）

○基本的な考え方

- ◇交通機能の集約化
- ◇安全な歩行空間の確保
- ◇人が集い留まれる空間の創出
- ◇人中心の魅力ある賑わいの空間
- ◇買収面積の最小化

- 人優先の安全・安心な街の形成
- みどりの創出も大事
- こじんまりとした閑静な住宅地
- 歩行者空間の確保を住民の声で実現させたい
- 駅南西を中心ににぎわいの形成

○駅周辺機能図（案）



- 西荻のようなこじんまりとしたバスロータリーが作れば良いと思う。
- 皆の賛同がとりやすいと思いました。
- 安心して歩ける商店街づくりに必須だと思います。北口の活性化につながる可能性も。



- 北側のスーパーは残してほしい
- 案1より北側の環境が変わる。車による送迎が増え、その渋滞影響が心配。
- 駅に向かう歩行者が遠回りにならない配慮が必要と思う



- 南側に大きな広場を作るとなると街の構成が今とがらっと変わってしまう心配がある
- 既存の商店街への影響が大きい。

第5回まちづくりワークショップ・まちづくりオープンハウス

第4回まちづくりワークショップ・まちづくりオープンハウスでのご意見をふまえ、今後策定していく道路・交通施設整備計画の内容（整備目標・整備計画）について議論するためのたたき台を示し、ご意見を伺いました。

◇道路・交通施設整備計画（たたき台）

○整備目標

整備目標（3つの柱）

1. コンパクトな交通結節点機能の強化

- ・駅前の交通環境を改善し、鉄道・バス・タクシー相互の乗換利便性の向上を図る。

2. 歩行者の安全性確保

- ・車中心から人中心の空間へと転換し、安心して通行できる道路空間を形成する。

3. みどり豊かににぎわい空間の創出（集い留まれる・みどり豊かな場所）

- ・人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる空間を創出する。
- ・にぎわいを演出するみどりの空間を形成する。

<全体について>

- 目標としては、分かりやすく、よくまとまっている。
- 目標として否定するつもりはないが一般的な内容で「下井草らしさ」が出ていない。

<コンパクトな交通結節点機能の強化について>

- 駅前の交通環境が改善されることで、渋滞が解消されることを期待している。
- タクシーアプリが普及し、駅前にタクシープールは、それほどいらない。
- 鉄道・バス・タクシーを利用できるように高齢者、障害者などを送迎する寄り付きもできると良い。
- バリアフリー、ユニバーサルデザインの視点が重要。

<歩行者の安全性確保について>

- 「車中心から人中心の空間」の部分は、人によって捉え方が違うと思うため、もう少し具体的に書いた方が良い。
- 歩行者の安全は地域の課題であったので、安全性という文言が入ったことはよかった。

<みどり豊かににぎわい空間の創出について>

- 「善福寺緑地の整備のように、区が大きな敷地を買って公園や緑地などにする施策を進めて欲しい。
 - 農福連携事業などにより下井草らしい地域の店が入って欲しい。
 - 多世代が暮らす街をイメージできるよう、「人々」でなく「広い世代の人々」してはどうか。
- #### <その他>
- 「南北の往来がしやすくなる」ことを入れる。
 - 今後は、電動キックボードや電動自転車等、新しいモビリティにも対応が必要になっていくと思うので、そのことも加えてほしい。

○整備計画図



<用地買収について>

- 現道があるので土地の買収を最小化できると思うが、それでも買収対象がなくなるわけではないと思うので、住民、商店への配慮が必要だと思う。
- 住民の土地を買収するのではなく、西武の土地を買収することはできないのだろうか。

<歩行者が安全安心に回遊できる道路空間について>

- 南側商店街は、バスを除けば、商品搬入、子どもの送り迎え、病院への送り迎えの車ぐらいしかないので計画は実現できそうに思う。
- 北側の旧早稲田通り沿いにもお店があるので、そちらにも「歩行者が安全安心に回遊できる道路空間」エリアを広げてほしい。

<旧早稲田通りの安全性の向上について>

- 旧早稲田通りが生活している住民からすると駅周辺で最も危ない。この改善することが最優先課題。
- 旧早稲田通りは、生活道路であり地域の記憶を継承する地域資源でもある。幅幅ではない解決策を探るべき。
- 整備計画図の駅南側の旧早稲田通り沿道がオレンジになっているが、この部分は何か安全性向上の整備をするのか。
- すぐにできないことはわかるが、それも入れて駅前広場を計画すべきだと思う。

<道路と鉄道の連続立体交差事業>

- 高架か地下の検討状況はどうなっていて、いつ決まるのか。

<その他>

- 影響範囲を小さくするにはバスを小さくする。

<北側の交通結節点機能について>

- 北側の交通結節点機能が道路沿いだけになっており、機能としては少し狭いのではないかと。
- 広場からバスが早稲田通りへの出入り口で南へ回るときに交差が危険であり、そこに歩行者系広場があり問題である。

第6回まちづくりワークショップ

第5回まちづくりワークショップ及びオープンハウスでいただいたご意見をもとに道路・交通施設整備計画（たたき台）を修正し、道路・交通施設整備計画（たたき台No2）整備目標及び整備計画図を示し、参加者からご意見を伺いました。

整備目標（たたき台No2）

1. コンパクトな交通結節点機能の強化

- 駅前の交通環境を改善し、鉄道・バス・タクシー相互の乗換利便性の向上を図る。
- 新しいモビリティの導入を図る。

2. 歩行者の安全性確保

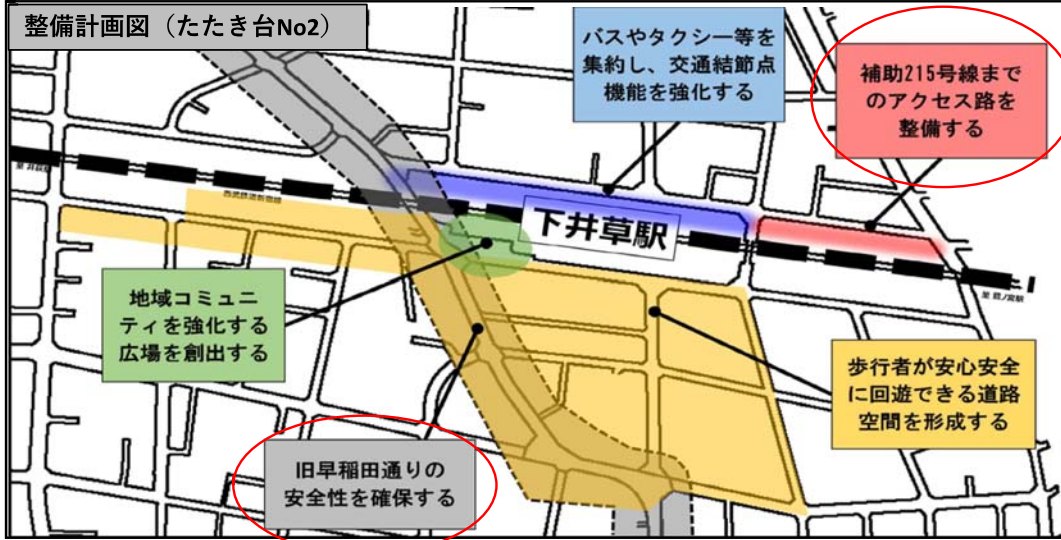
- 車中心から人中心の空間へと転換し、安心して通行できる道路空間を形成する。
- 誰もが安心して快適に利用できるように、歩行者空間のユニバーサルデザインを導入する。

3. みどり豊かなにぎわい空間の創出（集い溜まれる・みどり豊かな場所）

- 様々な人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる空間を創出する。
- にぎわいを演出するみどりの空間を形成する。

・整備目標（たたき台No2）は、第5回まちづくりワークショップで示したたたき台から、左図の赤字下線の部分を変更しました。

整備計画図（たたき台No2）



・整備計画図（たたき台No2）は、第5回まちづくりワークショップで示したたたき台から、左図の赤い丸で囲った部分を変更しました。

○この会は、修正した整備目標・整備計画図について、いただいた意見・質問に直接回答いたしました。主な内容については、以下のとおりです。

- Q：アクセス路を伸ばしたのはなぜか。その先の都市計画道路が拡幅される予定がないのではないかと。
- A：補助215号線は「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」における「優先整備路線」になっていませんが、将来の交通ネットワークを見据えて計画に盛り込みました。
- Q：旧早稲田通りの拡張なしで渋滞解消はできないのではないかと。
- A：連続立体交差事業で踏切が解消されることで渋滞は大きく解消されます。さらに、バス停を旧早稲田通り以外に確保することも有効と考えます。
- Q：交通計画の動線がわからないので意見が言えない。
- A：バスやタクシーなどの車両は北側になります。旧早稲田通りから入り、事例※で示したターンテーブルやラウンドアバウトで転回して、再び旧早稲田通りに戻ることを想定しています。今回の計画は、イメージですので、今後検討してまいります。

- Q：整備計画図を実現するまでのスパンはどれくらい？
- A：時期は未定です。他の事例によると、20年以上かかると推定されます。
- Q：バスルートとしては旧早稲田通りを一方通行にした方がよい。
- A：一方通行にするには、現在旧早稲田通りを通行している車両（バス等）を代替ルートに転換しなければなりません。代替ルートを選定するにあたっては、バス路線となるので、現状のままの道路構造では通行できないことから、道路構造の整備やバスが通行することによる住民の合意形成、歩行者専用道路などの交通規制を管轄している警視庁との協議が必要となります。以上のことから旧早稲田通りを一方通行化するハードルは高いと思われます。
- Q：青いエリアの人に買収で立ち退きをしてもらうのは心が痛む。本当に買収できるのか？
- A：駅周辺の課題を解決するためには、西武鉄道も含む地権者の方々のご理解ご協力は欠かせません。今後、整備に必要な範囲が明確になった際に、地権者の方々のご理解ご協力が得られるよう丁寧に進めてまいります。

※駅北側でバス等の車両を転回するための事例



【事例1】
聖蹟桜ヶ丘
ラウンドアバウト



【事例2】
南善福寺
バスターンテーブル

各回のいただいた意見はこちらからご覧いただけます。



二次元コード

下井草駅周辺まちづくり

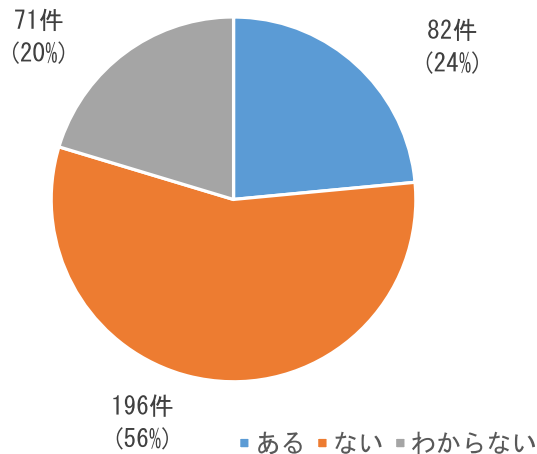
検索

アンケート結果（小・中学生）

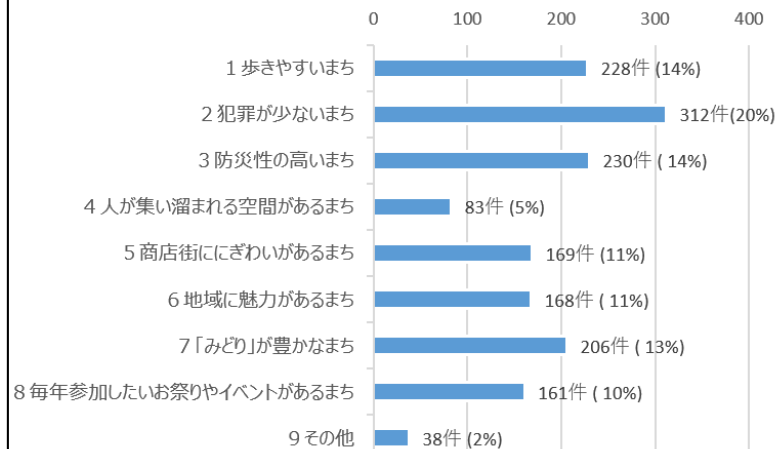
アンケート調査の概要（令和6年2月実施）

対象者：小学生・中学生 回答総数：349件

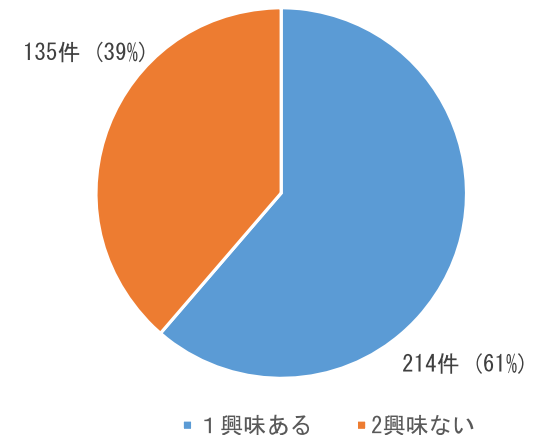
Q4 通学路で危険だと感じる場所はありますか



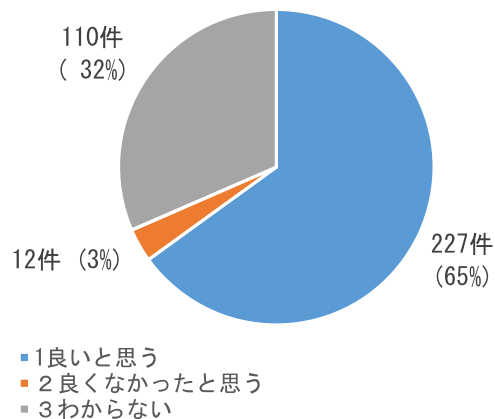
Q13 どのようなまちに住みたいですか



Q15 まちづくりに興味ありますか



Q21 「下井草駅周辺道路・交通施設整備計画（たたき台）」にある「整備目標【3つの柱】」の内容についてあなたが感じたことを教えてください



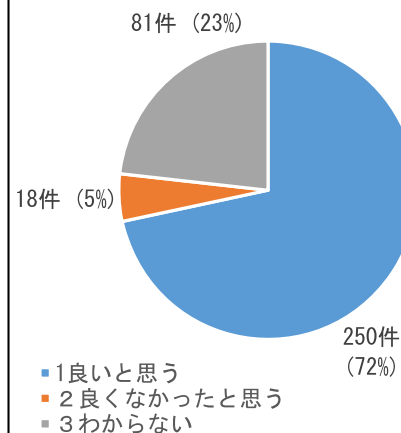
良いと思う主な意見

- 交通結節点の整備は住みやすい街づくりの模範である。
- 近年、緑が減ってきているのと、横断歩道や信号が設けられていなくて危ないと思った。
- 歩行者の安全確保はありがたい。
- 街に活気が出ていいと思う。

良くないと思う主な意見

- 特に困っていることがなく、バスで荻窪駅や阿佐ヶ谷駅に行けるから無理に変える必要はないと思う。

Q23 「下井草駅周辺道路・交通施設整備計画（たたき台）」にある「整備計画図」の内容について、あなたが感じたことを教えてください



良いと思う主な意見

- 車で送迎をしてもらうときに、車を一時停止する場所がなくて困っていたから。
- 渋滞などの問題がなくなると同時に、歩行者も運転者も気持ちよく町で過ごすことができると思うから。
- 交流が増えたり、より交通に便利な場所になったら利用したいと思うから。

良くないと思う主な意見

- 南側のバス停の位置は変えなくて良いと思う。

連続立体交差事業とあわせたまちづくり

京王線線連続立体交差事業

(構造形式：地下)【調布駅、布田駅】

- 特徴 : 鉄道敷地の一部に緑道を整備、地域住民の利便性を高める空間を整備
- 交通結節点機能 : 駅上部空間に駅前広場を整備
駅前広場が一体化され、交通結節機能が集約
- 地域との連携 : 地域のシンボルをいかした緑道や広場を整備

緑道



鬼太郎ひろば



商業施設



鉄道（地下）の上部空間



布田駅駅前広場



自転車等駐車場



連続立体交差事業とあわせたまちづくり

小田急線・京王線連続立体交差事業

(構造形式：高架・地下)【下北沢駅～世田谷代田駅】

- 特徴 : 鉄道敷地を活用して緑道を整備、来街者の回遊性を高める空間を整備
- 交通結節点機能 : 駅上部空間に駅前広場を整備
駅前広場が一体化され、交通結節点機能が集約
- 地域との連携 : 周辺地域や住民と連携し、新たな賑わい空間を整備

(構造形式：高架)

(構造形式：地下)



連続立体交差事業とあわせたまちづくり

西武池袋線連続立体交差事業

(構造形式：高架)【石神井公園駅】

- 特徴 : 駅周辺の高架下空間に賑わいや行政の施設が集積
- 交通結節点機能 : 駅の高架下空間に駅前広場を整備
駅前広場が一体化され、交通結節点機能が集約
- 地域との連携 : 駅間の高架下空間を活用したイベントを実施

緑道 (側道緑化)



高架下の小さな広場



商業施設



高架下の小さな広場

引用元：(株)ストアーズ社



石神井公園駅駅前広場



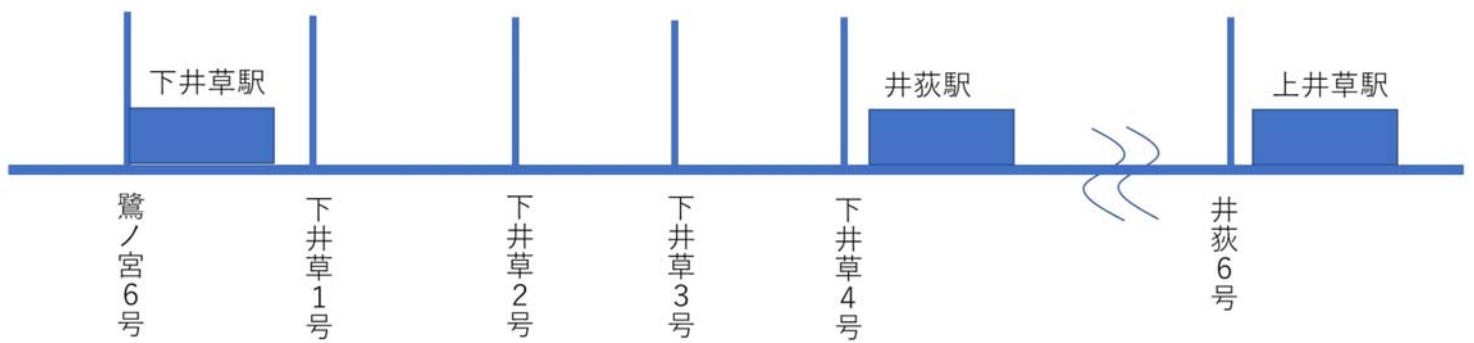
駅周辺道路の整備



令和元年11月14日 午前7～午後7までの 杉並区内の踏切の12時間の交通量実態調査の結果

	鷺ノ宮6号	下井草1号	下井草2号	下井草3号	下井草4号	井荻6号
大型車	0	166	13	0	8	247
普通・小型・軽	0	2,177	2,221	0	605	2,215
二輪	4	169	200	4	120	235
自転車	1,733	1,949	755	1,209	1,720	1,175
歩行者	1,522	2,222	529	716	953	6,103
車いすシニアカー	3	3	0	1	0	3

西武新宿線 杉並区内の駅と踏切の概略



井荻6号踏切



鷺ノ宮6号踏切



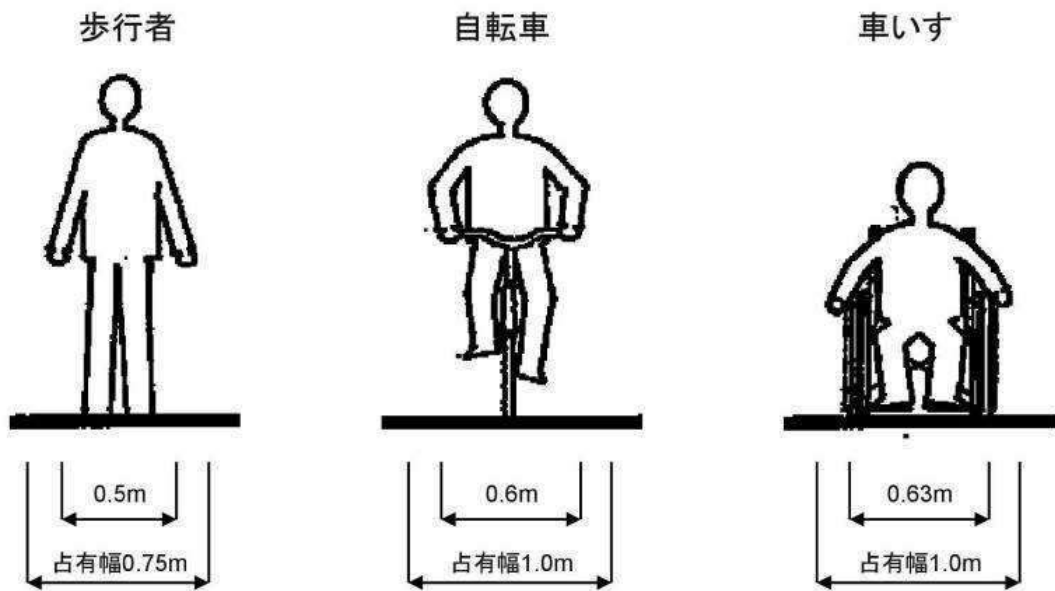
下井草1号踏切



下井草2号踏切

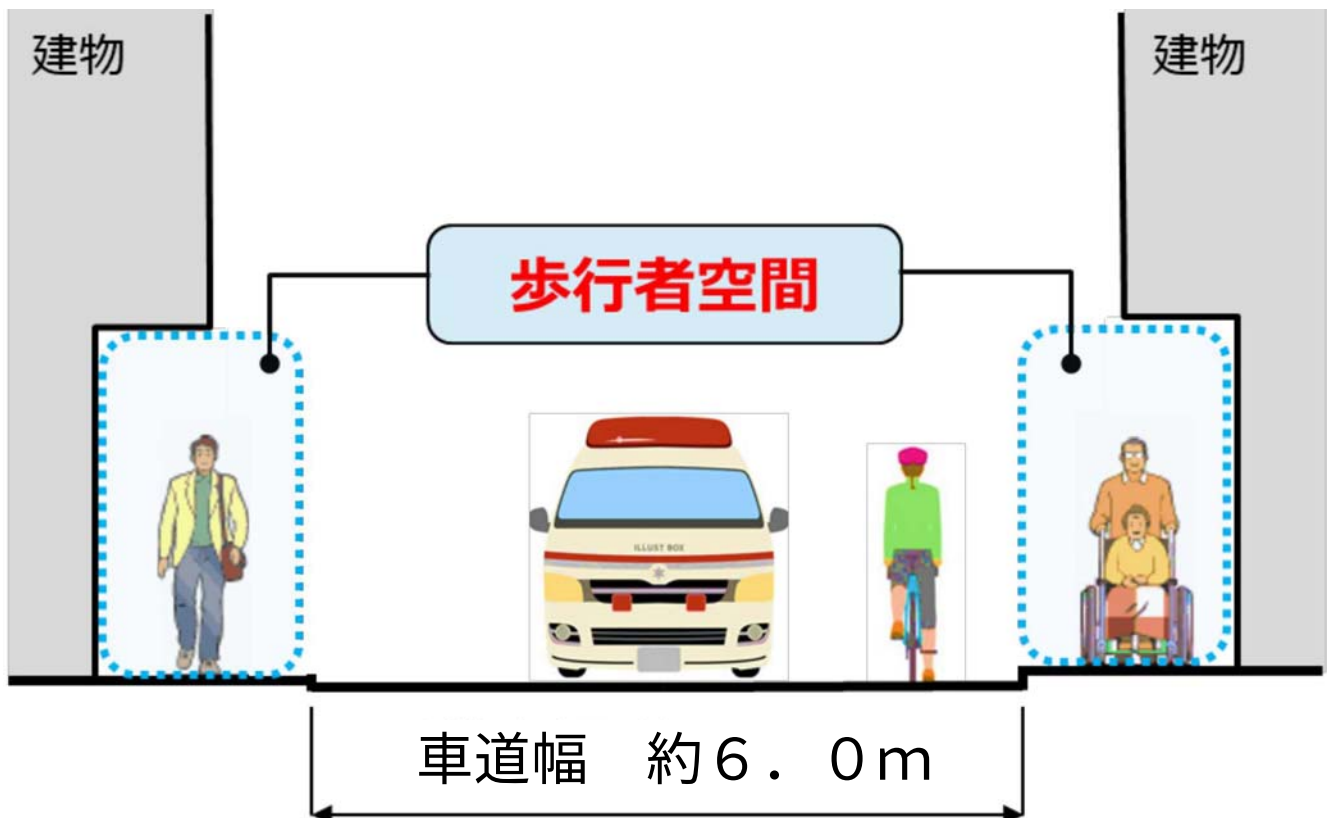
安全で安心して歩くことのできる 歩行者空間の確保

歩道の検討時の基本的な寸法



壁面位置を制限すると

人が立ち止まれる・車いすが通れる
人がすれ違うことができる





公園のリニューアル ワークショップだより

このワークショップでは「杉並区多世代が利用できる公園づくり基本方針（平成31年1月策定）」にもとづき、地域の皆様と公園づくりについて話し合います。話し合いをもとに、公園施設の再配置等による公園機能の見直しを図りながら、多世代が利用できる魅力ある公園づくりを進めていきます。このおたよりでは、ワークショップで話し合った内容についてお知らせしていきます。

お問い合わせ：杉並区みどり公園課 公園企画係 03-3312-2111（内線 3582）

第2回ワークショップを開催しました！

テーマ「これからの公園の使い方を考えよう！」

7月6日（土）に開催した第2回ワークショップでは、14名の方にご参加いただきました。

今回のワークショップでは、対象の公園である井草公園区の「井草公園・八成公園・井草北公園・住吉公園・正保公園・井草さくら公園・神戸町児童遊園」の7公園について、具体的な将来像や将来的な機能（使い方）の分担を考えました。



～ワーク「公園の将来像を考えよう」の流れ～

1 具体的な将来像の検討

「公園で何がしたいか」「どんな公園がいいか」等、各公園の将来像を具体的に考え、付せんに入ります。



2 グループでの意見共有

グループ内で意見を共有し、図面にまとめていきます。



3 全員での検討

その後、まとめた図面を見ながら参加者の皆さんで各公園の将来的な機能（使い方）の分担を考えました。



アンケートのご協力ありがとうございました！

ワークショップでの検討の参考とさせていただいたため、前回のワークショップだより

にて公園機能に関するアンケート調査を行いました。

アンケート結果は杉並区公式 HP にて公開しております。

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/kusei/ryoka/tasedaikouen/1050778.html>

多世代が利用できる公園
づくり基本方針 HP→



ワーク結果 2 将来的な機能（使い方）の分担について考えよう

ワーク結果1を踏まえ、公園が将来的にどのような目的で利用されたら良いと思うか、将来的な公園の機能（メインの機能・サブの機能）の分担を皆さんと考えました。

今回のワークでは「多世代が利用できる場」としての公園機能が必要だと多くの意見をいただきました。こちらの結果をもとに、今後のワークショップにてさらに検討を進めます。

実際のワークの様子

	メインの機能	サブの機能
井草公園	多目的オープンスペース	健康増進に寄与する場、休息できる場、みどりに触れ合える環境教育の場、動植物の生息・移動中継に適した場
八成公園	児童	健康増進に寄与する場、休息できる場
井草北公園	幼児	健康増進に寄与する場、休息できる場
住吉公園	健康増進に寄与する場	健康増進に寄与する場、休息できる場
正保公園	健康増進に寄与する場	健康増進に寄与する場、休息できる場
井草さくら公園	多目的オープンスペース、児童	健康増進に寄与する場、休息できる場
神戸町児童遊園	健康増進に寄与する場	健康増進に寄与する場、休息できる場

～公園の主な機能～

- 多目的に利用できるオープンスペース
- 球戯利用できる場
- 幼児の遊び場
- 児童の遊び場
- 健康増進に寄与する場
- 休息できる場
- みどりに触れ合える環境教育の場
- 動植物の生息・移動中継に適した場

公園リニューアル工事までの流れ

※現時点での予定の流れです。状況により前後する可能性があります。

令和6年度	令和7年度
6/15(土) 第1回ワークショップ 公園の魅力や課題を見つけよう	10月下旬 改修案決定 このおたよりにてお知らせする他、現地（各公園）に改修案を掲示します。
7/6(土) 第2回ワークショップ これからの公園の使い方を考えよう	公園改修工事予定
8/3(土) 第3回ワークショップ 公園の間取り配置を考えよう	
9/14(土) 第4回ワークショップ 計画案をつくらう	

ワーク結果 1 公園の将来像を考えよう

参加者の皆さんにいただいた、各公園の具体的な将来像のご意見のうち主な意見を中心にご紹介します。

井草北公園

～球戯ができる公園～

- ・児童が球戯場を利用しやすい
- ・思い切り球戯ができる

～休息できる公園～

- ・休息できる公園
- ・夏の避暑地になる公園
- ・子ども達を見守り、休息ができる公園

～幼児が安心して遊べる公園～

- ・幼児が安心して遊べる公園、見通しを良くしてほしい
- ・幼児が楽しめる、幼児用遊具がある公園
- ・幼児が安全に遊べる公園

～遊具が充実し、子どもが集まる公園～

- ・アスレチック系の遊具など、他の公園にない遊具がたくさんある公園
- ・体を動かして遊べる公園
- ・子どもが集まって遊べる公園
- ・児童が遊具を堪能できる公園

住吉公園

～休息できる公園～

- ・ふらっと寄れる公園
- ・休憩場所となる公園

～児童が遊べる公園～

- ・井草森公園と近いため、違う遊具がある公園
- ・児童が遊べる公園

～みどりに触れ合える公園～

- ・みどりに触れ合える公園
- ・遊歩道的な感じの公園
- ・(公園区全体について) それぞれの公園に代表する花、植物を割り当て公園区を周回できるような工夫があると良いのでは

～入りやすく、通り抜けしやすい公園～

- ・東西で連続性がある公園(両サイドにアジサイが並ぶなど)
- ・通り抜け利用ができる公園
- ・見通しが良く子どもが安心安全に利用できる公園
- ・レンガや草などを整備し、歩いていて楽しくしたい
- ・けんけんばマークをつけて中に進みたくなる仕掛けがあると良い
- ・環八側を入りやすくしたい

井草公園

～イベント利用ができる公園～

- ・イベントや地域で集まれる公園

～多世代が多様な用途で利用できる公園～

- ・大人、子どもが遠慮なく利用できる公園
- ・多世代が使える公園
- ・多目的に遊べる公園

～健康づくりのできる公園～

- ・大人も休息やストレッチができる公園
- ・公園を周回して健康になれる公園

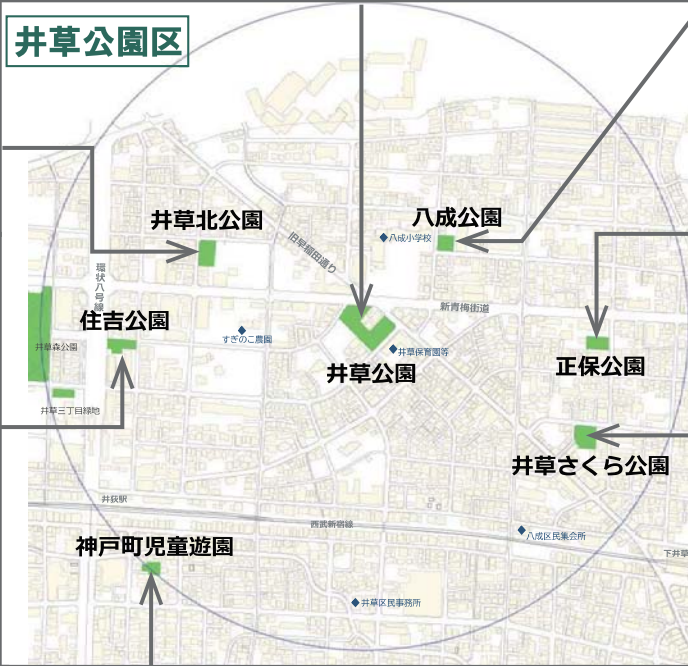
～みどりに触れ合える公園～

- ・周囲の緑地と協調して環境教育ができる公園
- ・みどりが多い公園

～休息ができる公園～

- ・軽食が取れる公園、もっとテーブルが欲しい
- ・健康遊具を使いながら休める、子どもを見守りやすい公園

井草公園区



神戸町児童遊園

～植物を楽しめる公園～

- ・季節の花を楽しめる公園

～イベントを開催できる公園～

- ・街の駅と連携し、昔の遊び、体験などのイベントを定期開催

～休息できる公園～

- ・商店街にきた人が休憩できる公園
- ・駅近で休息できる公園
- ・見通しの良い、安心して休息できる公園

～公園を利用しやすい～

- ・入口に案内板をつけたい
- ・公園の存在感を目立たせたい

八成公園

～児童が集まる公園～

- ・小学生が集まる公園
- ・第2の校庭のような公園
- ・見通しが良く、児童が使いやすい公園

～幼児が遊べる公園～

- ・子ども(幼児)が集まる公園
- ・幼児が遊べる公園

～休息ができる公園～

- ・大人、親も休息できる公園
- ・休息できる公園

～多世代が多様な用途で利用できる公園～

- ・多世代の大人から子どもまで利用できる、集まれる公園
- ・ふらっと立ち寄れる公園

～安心安全な公園～

- ・安心して子どもだけでも遊べる公園
- ・住宅街もあるので安全に利用でき、見守りできる公園
- ・見通しをよくする

正保公園

～見通しが良く、入りやすい公園～

- ・入りやすい公園
- ・見通しがいい公園

～明るい公園～

- ・明るい雰囲気のある公園

～休息できる公園～

- ・草花、緑が多く休息できる公園
- ・林の中で休める公園

～みどりに触れ楽しめる公園～

- ・花を楽しめる公園
- ・みどり、木の実、花に触れ合える公園

～築山や自然を生かし、子どもが遊べる公園～

- ・築山を活かし、走って遊べる公園
- ・見通しを良くし木や丸太のアスレチックでダイナミックに遊べる

井草さくら公園

～多世代が多様な用途で利用できる公園～

- ・幅広い世代が使える公園
- ・地域全体で利用できる公園
- ・多目的に使える公園(お祭り、球戯、子ども、花見など)
- ・ツリーサークル周りのベンチは利用しやすいので活かしたい

～児童が遊べる公園～

- ・児童が集まる場所
- ・小中学生が思いきり遊べる公園
- ・複雑な遊具が欲しい

～サクラを中心にみどりを楽しむ公園～

- ・サクラをアピールする
- ・サクラを楽しむ公園
- ・お花見ができる、花木がきれいな公園

～休息できる公園～

- ・保護者が子どもを見守りながらゆっくりできる公園
- ・駅近で大人も休息できる公園
- ・サクラや自然を見ながら休めるところになると良い

屋敷林と農地について

都市の屋敷林と農地の機能



屋敷林とは、屋敷の周りに植えられた樹木で、強風から家屋を守り、枝は薪として、葉は腐葉土として畑に使用する等、かつては生活に欠かすことのできないものでした。生活様式が変わった現在でも、夏の強い日差しを遮り、温度の上昇を和らげることや二酸化炭素の吸収等の様々な機能があります。また、農地については食料生産のほか、災害時のオープンスペースやレクリエーションの場等、都市における貴重な役割を果たしています。しかし、区内の屋敷林や農地はここ 30 年近くで半減しています。そのため、区では平成 26 年度に「杉並区緑地保全方針」を策定し、区内の 10 地区を杉並らしいみどりの保全地区に指定し、地域の方とともに、屋敷林・農地の保全のための取組をしています。



むかしの屋敷林の役割

- 用材：家の建築用の材料、野菜を干すための竿、杭など（スギ、ケヤキ、カシ）ザル、ぼうき、かやぶき屋根の骨（タケ）
 - 燃料：落ち葉や枯れ枝（ケヤキ）
 - 肥料：落ち葉（ケヤキ）
 - 食料：カキやビワ、イチジク、ウメなど
 - 防風雨・砂防：冬の北西の風の土ほこりよけ（スギ、カシ、ケヤキ）
 - 温度調節：夏に屋間の直射日光や西日をさえぎる（ケヤキ）
 - 防火：火事の時に火の粉から家を守る（カシ）
 - 境界：生けがき
- このほかにもタワシや縄（シュロ）、家具（キリ）、防虫剤（クスノキ）などさまざまなことに利用されていた。

担当 みどり公園課 みどりの計画係